

試験方法の区分の名称	レディーミクストコンクリート試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1101 (コンクリートのスランブ試験方法)	
JIS A 1116 (フレッシュコンクリートの単位容積質量試験方法及び空気量の質量による試験方法(質量方法))	
JIS A 1128 (フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法—空気室圧力方法)	
JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材	
5.14 g)フレッシュコンクリートの単位容積質量 (JIS A 1116 の試験方法を引用する)	
JIS A 5308 レディーミクストコンクリート	
9.3 スランブ (JIS A 1101 の試験方法を引用する)	
9.5 空気量 (JIS A 1128 の試験方法を引用する)	
JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤	
6.2.7 a)スランブ (JIS A 1101 の試験方法を引用する)	
6.2.7 b)空気量 (JIS A 1128 の試験方法を引用する)	
6.2.7 i)流動化剤を用いたコンクリートのスランブ 及び空気量の経時変化量	

試験方法の区分の名称	骨材試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1102 (骨材のふるい分け試験方法)	
JIS A 1103 (骨材の微粒分量試験方法)	
JIS A 1104 (骨材の単位容積質量及び実積率試験方法)	
JIS A 1105 (細骨材の有機不純物試験方法)	
JIS A 1109 (細骨材の密度及び吸水率試験方法)	
JIS A 1110 (粗骨材の密度及び吸水率試験方法)	
JIS A 1121 (ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法)	
JIS A 1122 (硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験方法)	
JIS A 1134 (構造用軽量細骨材の密度及び吸水率試験方法)	
JIS A 1135 (構造用軽量粗骨材の密度及び吸水率試験方法)	
JIS A 1137 (骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法)	
JIS A 1145 (骨材のアルカリシカ反応性試験方法(化学法))	
JIS A 1146 (骨材のアルカリシカ反応性試験方法(モルタルバー法))	
JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材	
5.6 有機不純物 (JIS A 1105 の試験方法を引用する)	
5.7 安定性 (JIS A 1122 の試験方法を引用する)	
5.8 粘土塊量 (JIS A 1137 の試験方法を引用する)	
5.9 微粒分量 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)	
5.10 粒度 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)	
5.11 絶乾密度 (JIS A 1134 及び JIS A 1135 の試験方法を引用する)	
5.13 粗骨材の実積率 (JIS A 1104 及び JIS A 1135 の試験方法を引用する)	
JIS A 5005 コンクリート用砕石及び砕砂	
6.2 絶乾密度及び吸水率試験 (JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)	

6.3 安定性試験 (JIS A 1122 の試験方法を引用する)
6.4 すりへり試験 (JIS A 1121 の試験方法を引用する)
6.5 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)
6.6 粒形判定実積率試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)
6.7 微粒分量試験 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)
6.8 アルカリシカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)
JIS A 5011-1 コンクリート用スラグ骨材—第1部: 高炉スラグ骨材
6.3 絶乾密度及び吸水率試験
a) 高炉スラグ粗骨材 (JIS A 1110 の試験方法を引用する)
b) 高炉スラグ細骨材 (JIS A 1103, JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)
6.4 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)
6.5 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)
JIS A 5011-2 コンクリート用スラグ骨材—第2部: フェロニッケルスラグ骨材
5.3 絶乾密度及び吸水率試験
(JIS A 1103, JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)
5.4 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)
5.5 アルカリシカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)
5.6 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)
JIS A 5011-3 コンクリート用スラグ骨材—第3部: 銅スラグ骨材
5.3 絶乾密度及び吸水率試験
(JIS A 1103, JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)
5.4 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)
5.5 アルカリシカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)
5.6 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)
JIS A 5011-4 コンクリート用スラグ骨材—第4部: 電気炉酸化スラグ骨材
6.3 絶乾密度及び吸水率試験
(JIS A 1103, JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)
6.4 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)
6.5 アルカリシカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)
6.6 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)
JIS A 5308 レディミクストコンクリート 附属書A(規定) レディミクストコンクリート用骨材
A.10 試験方法の a), b), c), d), e), f), g), h), i), j), k), n), o), p)

試験方法の区分の名称	コンクリート・セメント等無機系材料強度試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1108 (コンクリートの圧縮強度試験方法)	
JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)	
11. (強さ試験)	
JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材	
5.14 f) コンクリートの圧縮強度試験 (JIS A 1108 の試験方法を引用する)	
JIS A 5308 レディミクストコンクリート	

<p>9.2.1 圧縮強度 (JIS A 1108 の試験方法を引用する)</p> <p>附属書C(規定)のC.8.1.8 モルタルの圧縮強さの比の試験 (ただし, A 法に限る)</p> <p>附属書C(規定)のC.8.2.5 モルタルの圧縮強さの比の試験 (ただし, A 法に限る)</p> <p>(JIS A 5308 附属書CのC.8.1.8 及び JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5406 建築用コンクリートブロック</p> <p>10.1.4 圧縮強さ試験</p> <p>JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤</p> <p>6.2.7e) 圧縮強度 (JIS R 5201 11. の試験方法を引用する)</p> <p>JIS R 5210 ポルランドセメント</p> <p>6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ)</p> <p>(JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する)</p> <p>JIS R 5211 高炉セメント</p> <p>6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ)</p> <p>(JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する)</p> <p>JIS R 5212 シリセメント</p> <p>6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ)</p> <p>(JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する)</p> <p>JIS R 5213 フライッシュセメント</p> <p>6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ)</p> <p>(JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する)</p>
--

試験方法の区分の名称	コンクリート用化学混和剤試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
<p>JIS A 1123 (コンクリートのブリーディング試験方法)</p> <p>JIS A 1147 (コンクリートの凝結時間試験方法)</p> <p>JIS A 1148 (コンクリートの凍結融解試験方法)</p> <p>JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤)</p> <p>附属書 A (規定) 化学混和剤中に含まれる塩化物イオン (Cl⁻) 量の試験方法</p> <p>附属書 B (規定) 化学混和剤中に含まれるアルカリ量の試験方法</p> <p>JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤</p> <p>6.2.7 c) ブリーディング量 (JIS A 1123 の試験方法を引用する)</p> <p>6.2.7 d) 凝結時間 (JIS A 1147 の試験方法を引用する)</p> <p>6.2.7 g) 凍結融解に対する抵抗性 (JIS A 1148 の試験方法を引用する)</p> <p>6.3 塩化物イオン (Cl⁻) 量 (JIS A 6204 附属書 A の試験方法を引用する)</p> <p>6.4 全アルカリ量 (JIS A 6204 附属書 B の試験方法を引用する)</p>	

試験方法の区分の名称	形状・寸法・質量・密度試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
<p>JIS A 1129-1 (モルタル及びコンクリートの長さ変化測定方法-第1部:コンパレータ方法)</p> <p>JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤</p> <p>6.2.7 f)長さ変化 (JIS A 1129-1 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5406 建築用コンクリートブロック</p>	

10.7 寸法測定 JIS A 5441 押出成形セメント板 (ECP) 7.3 寸法の測定 JIS A 6511 空洞プレストレストコンクリートパネル 8.1 寸法測定試験 JIS A 6514 金属製折板屋根構成材 9.2 寸法の測定方法 JIS A 6517 建築用鋼製下地材 (壁・天井) 9.3 構成部材の形状安定性試験 JIS A 6519 体育館用鋼製床下地構成材 9.9 大引, 根太及び床パネルの形状安定性試験
--

試験方法の区分の名称	セメント・混和剤(材)試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS R 5201 セメントの物理試験方法	7. 密度試験 8.1 比表面積試験 9. 凝結試験 10. 安定性試験
JIS R 5203 セメントの水和熱測定方法(溶解熱方法)	
JIS A 5308 レディーミストコンクリート	附属書C(規定)(レディーミストコンクリートの練混ぜに用いる水)のC.8.1.7 セメント凝結時間の差の試験 (JIS R 5201 の9.の試験方法を引用する) 附属書C(規定)(レディーミストコンクリートの練混ぜに用いる水)のC.8.2.4 セメントの凝結時間の差の試験 (JIS A 5308 附属書CのC.8.1.7及びJIS R 5201 の9.の試験方法を引用する)
JIS R 5210 ポルトランドセメント	6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) (JIS R 5201 7., 8.1, 9.及び10.の試験方法を引用する) 6.3 水和熱 (JIS R 5203 の試験方法を引用する)
JIS R 5211 高炉セメント	6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) (JIS R 5201 7., 8.1, 9.及び10.の試験方法を引用する) 6.3 水和熱 (JIS R 5203 の試験方法を引用する)
JIS R 5212 シリカセメント	6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) (JIS R 5201 7., 8.1, 9.及び10.の試験方法を引用する)
JIS R 5213 フライッシュセメント	6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) (JIS R 5201 7., 8.1, 9.及び10.の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	石灰・セメント・ガラス化学分析試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材	5.5 塩化物

JIS A 5308 レーミキストコンクリート
 附属書A(規定) レーミキストコンクリート用骨材 A.10 試験方法のp)塩化物量
 (JIS A 5002 5.5 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	吸音・遮音試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1416	実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法
JIS A 1409	残響室法吸音率の測定方法
JIS A 4702	ドアセット
9.9	遮音性試験 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)
JIS A 4706	サッシ
9.7	遮音性試験 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)
JIS A 6301	吸音材料
7.2	吸音性能の試験 (JIS A 1409 の試験方法を引用する)
JIS A 6504	建築用構成材(木質壁 ^ハ ネ)
7.3.2	遮音性 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)
JIS A 6512	可動間仕切
8.2	遮音性試験 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	ボード類強度試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 5702	硬質塩化ビニル波板
8.4	衝撃試験
JIS A 6504	建築用構成材(木質壁 ^ハ ネ)
7.3.6	衝撃強さ (JIS A 5702 8.4 の試験方法を引用する)
JIS A 6711	複合金属サイディング
9.1	曲げ強さ試験
9.2	耐衝撃性試験

試験方法の区分の名称	材料断熱性試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1412-1	熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第1部:保護熱板法(GHP法)
JIS A 1412-2	熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第2部:熱流計法(HFM法)
JIS A 1412-2	熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第2部:熱流計法(HFM法) 附属書B(規定) 保護熱板式熱流計法
JIS A 1420	建築用構成材の断熱性測定方法—校正熱箱法及び保護熱箱法 附属書B(規定) 小さな伝熱面積をもつ校正熱箱法
JIS A 5212	ガラスブロック(中空)
6.6	熱貫流試験 (JIS A 1420 附属書B(規定) の試験方法を引用する)
JIS A 5416	軽量気泡コンクリートパネル(ALCパネル)
9.7	パネルの断熱性能試験 (JIS A 1420 附属書B(規定) の試験方法を引用する)

JIS A 5430 繊維強化セメント板
9.8 熱伝導率試験 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
JIS A 5905 繊維板
7.19 断熱性試験 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
JIS A 5908 パーティクルボード
7.22 断熱性試験 (JIS A 1420 附属書 B (規定) の試験方法を引用する)
JIS A 6901 せっこうボード製品
7.12 熱抵抗試験 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1420 附属書 B (規定) の試験方法を引用する)
JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材
6.4 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
JIS A 9510 無機多孔質保温材
6.10 熱伝導率試験 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
JIS A 9511 発泡プラスチック保温材
5.7 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
JIS A 9521 建築用断熱材
6.6 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
JIS A 9523 吹込み用繊維質断熱材
6.1 熱抵抗 (JIS A 1412-2 附属書 B (規定) 又は JIS A 1420 附属書 B (規定) の試験方法を引用する)
JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム
6.2.6 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	気密・水密・耐風圧試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1414-3 (建築用パネルの性能試験方法-第3部: 温湿度・水分に対する試験)	
5.7 水密性試験	
JIS A 1515 (建具の耐風圧性試験方法)	
JIS A 1516 (建具の気密性試験方法)	
JIS A 1517 (建具の水密性試験方法)	
JIS A 4702 ドアセット	
9.6 耐風圧性試験 (JIS A 1515 の試験方法を引用する)	
9.7 気密性試験 (JIS A 1516 の試験方法を引用する)	
9.8 水密性試験 (JIS A 1517 の試験方法を引用する)	
JIS A 4706 サッシ	
9.3 耐風圧性試験 (JIS A 1515 の試験方法を引用する)	
9.4 気密性試験 (JIS A 1516 の試験方法を引用する)	
9.5 水密性試験 (JIS A 1517 の試験方法を引用する)	
JIS A 4713 住宅用雨戸	
9.1 a) 耐風圧性試験 (JIS A 1515 の試験方法を引用する)	
JIS A 6504 建築用構成材(木質壁パネル)	

7.3.3 防水性 (JIS A 1414-3 5.7 の試験方法を引用する)
JIS A 6509 建築用構成材(木質屋根 ^{パネ} ル)
7.3.3 防水性 (JIS A 1414-3 5.7 の試験方法を引用する)
JIS A 6711 複合金属サイディング
9.3 水密性試験 (JIS A 1414-3 5.7 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	建築構成部材断熱性試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 4702 ドアセット	
9.10 断熱性試験 (JIS A 4710 の試験方法を引用する)	
JIS A 4706 サッシ	
9.8 断熱性試験 (JIS A 4710 の試験方法を引用する)	
JIS A 4710 建具の断熱性試験方法	

試験方法の区分の名称	建築構成部材曲げ・圧縮・面内せん断試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1414-2 (建築用パネルの性能試験方法-第2部:力学特性に関する試験)	
5.1 面内圧縮試験	
5.3 単純曲げ試験	
5.5 面内せん断試験	
JIS A 5363 プレキャストコンクリート製品—性能試験方法通則	
JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品	
8.2 性能試験 (JIS A 5363 の試験方法を引用する)	
JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品	
9.2 性能試験 (JIS A 5363 の試験方法を引用する)	
JIS A 5409 鉄筋コンクリート組立壁構成材	
6.2 曲げ試験	
JIS A 5416 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル)	
9.5 パネルの曲げ強さ試験	
JIS A 5441 押出成形セメント板(ECP)	
7.5 曲げ強度試験 (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)	
JIS A 6504 建築用構成材(木質壁 ^{パネ} ル)	
7.3.4 面内せん断強さ (JIS A 1414-2 5.5 の試験方法を引用する)	
7.3.5 軸方向圧縮強さ (JIS A 1414-2 5.1 の試験方法を引用する)	
7.3.7 分布圧強さ (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)	
JIS A 6506 建築用構成材(木質床 ^{パネ} ル)	
7.3.4 耐分布圧性 (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)	
JIS A 6509 建築用構成材(木質屋根 ^{パネ} ル)	
7.3.4 耐分布圧性 (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)	
JIS A 6511 空洞プレストレストコンクリートパネル	
8.2 曲げひび割れモーメント及び曲げ破壊モーメント試験	

JIS A 6514 金属製折板屋根構成材 9.3 折板の曲げ耐力試験 9.4(2)(b) 圧縮試験
--

試験方法の区分の名称	建築構成部材衝撃・硬さ・弾力試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1414-2 (建築用パネルの性能試験方法-第2部:力学特性に関する試験) 5.6 衝撃試験	
JIS A 1518 ドアセットの砂袋による耐衝撃性試験方法	
JIS A 4702 ドアセット 9.5 耐衝撃性試験 (JIS A 1518 の試験方法を引用する)	
JIS A 5441 押出成形セメント板 (ECP) 7.6 衝撃試験 (JIS A 1414-2 の 5.6 の試験方法を引用する)	
JIS A 6517 建築用鋼製下地材 (壁・天井) 9.4.2 耐衝撃性試験	
JIS A 6519 体育館用鋼製床下地構成材 9.3 繰返し衝撃試験 9.4 床の弾力性試験 9.5 床の緩衝性試験 9.6 床の硬さ試験	
JIS A 6601 低層住宅用バルコニー構成材及び手すり構成材 8.1.6.2 a) 開口側の手すりかさ (笠) 木の衝撃試験 8.1.6.2 b) バルコニー面構成材の衝撃試験 8.2.4 衝撃試験 (JIS A 6601 の 8.1.6.2 の a) 及び b) の試験方法を引用する)	

試験方法の区分の名称	ホルムアルデヒド放散性試験 (デシケータ法)
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1460 建築用ボード類のホルムアルデヒド放散量の試験方法 — デシケータ法	
JIS A 5905 繊維板 7.18 ホルムアルデヒド放散量試験 (JIS A 1460 の試験方法を引用する)	
JIS A 5908 パーティクルボード 7.14 ホルムアルデヒド放散量試験 (JIS A 1460 の試験方法を引用する)	
JIS A 6921 壁紙 6.3.6 ホルムアルデヒドの放散量試験	
JIS A 6922 壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤 5.4 ホルムアルデヒドの放散量試験	

試験方法の区分の名称	機械的耐久性試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1519 建具の開閉力試験方法	
JIS A 4702 ドアセット	

<p>9.3 開閉力試験 (JIS A 1519 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 4706 サッシ</p> <p>9.1 開閉力試験 (JIS A 1519 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 1530 建具の開閉繰返し試験方法</p> <p>JIS A 4702 ドアセット</p> <p>9.4 開閉繰返し試験 (JIS A 1530 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 4706 サッシ</p> <p>9.2 開閉繰返し試験 (JIS A 1530 の試験方法を引用する)</p>
--

試験方法の区分の名称	金属系材料・部品等強度試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1521	片開きドアセットの面内変形追随性試験方法
JIS A 1523	ドアセットのねじり強さ試験方法
JIS A 1524	ドアセットの鉛直載荷試験方法
JIS A 4702	ドアセット
9.1	ねじり強さ試験 (JIS A 1523 の試験方法を引用する)
9.2	鉛直荷重強さ試験 (JIS A 1524 の試験方法を引用する)
9.11	面内変形追随性試験 (JIS A 1521 の試験方法を引用する)
JIS A 4704	軽量シャッター構成部材
11.1	構成部材の曲げ試験
11.1.1	スラットの曲げ試験
11.1.2	中柱の曲げ試験
11.1.3	上げ落としの曲げ試験
JIS A 5525	鋼管ぐい
11.2.4	へん平試験
JIS A 6514	金属製折板屋根構成材
9.4(2)(a)	引張試験
JIS A 6517	建築用鋼製下地材 (壁・天井)
9.4.1	載荷強さ試験
9.5.1	下向き載荷試験
9.5.2	上向き載荷試験
JIS A 6519	体育館用鋼製床下地構成材
9.2	鉛直載荷試験 9.2.1 一般体育館, 剣道場及び柔剣道場
9.2	鉛直載荷試験 9.2.2 柔道場
JIS A 6601	低層住宅用バルコニー構成材及び手すり構成材
8.1.2	床 (根太) の鉛直荷重試験
8.1.3	開口側の手すりかさ (笠) 木の鉛直荷重試験
8.1.4	開口側の手すりかさ (笠) 木の水平荷重試験
8.1.5	床の鉛直等分布荷重試験
8.2.2	手すりかさ (笠) 木の鉛直荷重試験
8.2.3	手すりかさ (笠) 木の水平荷重試験

JIS A 1522 建具の戸先かまち強さ試験方法
JIS A 4706 サッシ
9.6 戸先かまち強さ試験 (JIS A 1522 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	化学物質放散性試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 1901 建築材料の揮発性有機化合物 (VOC), ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物放散測定方法—小形チャンバー法 (但し、対象化学物質はホルムアルデヒドに限る。)	
JIS A 5536 床仕上げ材用接着剤 6.3.8 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 5537 木れんが用接着剤 5.8 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 5538 壁・天井ボード用接着剤 5.8 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 5547 発泡プラスチック保温板用接着剤 5.10 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材 6.8 ホルムアルデヒド放散特性 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 9511 発泡プラスチック保温材 5.15 ホルムアルデヒド放散 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 9521 建築用断熱材 6.5 ホルムアルデヒド放散特性 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	
JIS A 9523 吹込み用繊維質断熱材 6.2 ホルムアルデヒド放散 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	

試験方法の区分の名称	湿式重量・減量・残分・灰分試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 附属書 C (規定) の C.8.1.4 懸濁物質の量の試験 附属書 C (規定) の C.8.1.5 溶解性蒸発残留物の量の試験	

試験方法の区分の名称	ルーフィング試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS A 6013 (改質アスファルトルーフィングシート) 7.2(a) 長さ 7.2(b) 幅 7.2(c) 厚さ 7.4 製品の単位面積質量 7.5 引張強さ 7.6 引裂強さ	

7.7	耐熱性
7.8	寸法安定性
7.9	接合強さ
7.10	耐へこみ性
7.11	耐疲労性
7.12	耐折り曲げ性

試験方法の区分の名称	イオンクロマトグラフ分析
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS K 0127 イオンクロマトグラフ分析通則	
JIS A 1144 フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法 4. d) (JIS K 0127 の試験方法を引用する)	
JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 附属書 C (規定) の C. 8. 1. 6 塩化物イオン (Cl ⁻) 量の試験 (JIS A 1144 の 4. d) 及び JIS K 0127 の試験方法を引用する)	
附属書 C (規定) の C. 8. 2. 3 塩化物イオン (Cl ⁻) 量の試験 (JIS A 1144 の 4. d) 及び JIS K 0127 の試験方法を引用する)	

試験方法の区分の名称	ガラス透過・反射・日射熱特性試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS R 3106 板ガラス類の透過率・反射率・放射率・日射熱取得率の試験方法 4. 分光透過率及び分光反射率の測定 6. 日射透過率, 日射反射率及び日射吸収率の算定 7. 常温の熱反射の放射率の算定 8. 3 室外・室内表面熱伝達率 8. 4 1 枚のガラス板の日射熱取得率の計算	
JIS R 3221 熱線反射ガラス 7. 3. 2 日射熱遮へい性試験	
JIS R 3206 強化ガラス 8. 8 熱線反射強化ガラスの試験 (JIS R 3221 の 7. 3. 2 の試験方法を引用する)	
JIS R 3208 熱線吸収板ガラス 6. 1 5mm 日射熱取得率 (JIS R 3106 の 4. 3. 2. 1 及び 4. 3. 2. 2 の試験方法を引用する)	
JIS R 3209 複層ガラス 9. 6 光学薄膜の性能の加速耐久性試験 (JIS R 3106 4. の試験方法を引用する)	
JIS R 3212 自動車用安全ガラス試験方法 5. 11 可視光線透過率試験	
JIS R 3213 鉄道車両用安全ガラス 5. 2. 6 可視光線透過率 (JIS R 3213 の 6. 3. 1 の試験方法を引用する) 6. 3. 1 可視光線透過率試験	
JIS R 3220 鏡材 8. 1 反射率	

試験方法の区分の名称	ガラス寸法試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS R 3206 強化ガラス 8.4 反りの測定	
JIS R 3209 複層ガラス 9.3 寸法の測定	
JIS R 3212 自動車用安全ガラス試験方法 5.2 厚さの測定	
JIS R 3213 鉄道車両用安全ガラス 6.1.1 厚さの測定 6.1.2 寸法の測定	

試験方法の区分の名称	ガラス耐久性試験
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS R 3205 合わせガラス 7.3 耐光性試験 7.4 耐熱性試験 7.5 耐湿性試験 (JIS R 3212 の 5.10 の試験方法を引用する)	
JIS R 3221 熱線反射ガラス 7.3.3 耐光性試験	
JIS R 3206 強化ガラス 8.8 熱線反射強化ガラスの試験 (JIS R 3221 の 7.3.3 の試験方法を引用する)	
JIS R 3212 自動車用安全ガラス試験方法 5.10 耐湿性試験	
JIS R 3209 複層ガラス 9.4 露点試験 9.5 封止の加速耐久性試験	

試験方法の区分の名称	ガラス強度試験 (衝撃)
製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	
JIS R 3205 合わせガラス 7.6 落球試験 7.7 ショットバッグ試験	
JIS R 3206 強化ガラス 8.5 落球試験 8.6 破砕試験 8.7 ショットバッグ試験	